

# 南原小学校だより



平成26年10月3日（金）

創立以来の歴史を学び

## 『平成の創立記念』をふりかえりました

校長 むこう 向 だ 田 あきら 聡

10月3日は本校創立記念日です。本日午前、141周年創立記念式を挙行了しました。昨年、140周年の節目を終え、今年度から節目以外の年は、簡素化しながら創立時の地域の皆様や関係各位の思いや願いをしっかりと振り返り、新たなる決意を持って学校生活に取り組んでいくことができるようにと考えております。



すべて完成した1997年の記念写真

今回は、『校舎改築期成同盟会』や『校舎改築促進会』という地域の皆様が一体となって市をはじめ関係団体に陳情し続け、合計すると14年間も活動を継続していただいたおかげで今の立派な校舎が建っていることに着目して当時の子ども達への願いを伝えました。体育館建設から校舎新築、グラウンドやプールの完成まで、すべてが完成するまで9年間もかかっています。これぞ、『平成の創立記念』ということで、様々な苦労や思いに触れさせたところです。

### 《新校舎完成にあたって未来の子どもたちに込められた願い》

- 地域の人々が新校舎・グラウンド・プール建設のために、地権者は喜んで土地を譲り、旧校舎に親しみのある人達も未来の子ども達のためにと賛同して陳情活動に懸命に協力した。このことを忘れず、吾妻山のふもとに威風堂々の校舎で先輩達やこの素晴らしい校舎に負けないよう、より一層、勉強や運動に励んでほしい。
- たくさんの努力によって近代的な建築・設備で、木のぬくもりを生かした心と身体にやさしい校舎ができた。多様な思考や活動に対応できるオープンスペース、一堂に集まりより強い絆をつくるコモンスペースもある。地域発展の基礎は人づくり、心豊かな人に育ち、やがて地域の役に立つ人に成長していてもらいたい。



# 南原小学校昔ばなし

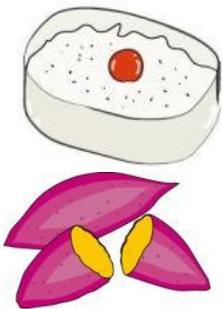
本校の創立は県内はもちろん、国内でもかなり早い。それは、上杉鷹山公が藩校である興讓館を再興させ、身分の上下などにこだわらず、やる気と能力のある者には支援をし、懸命に努力させ、藩の発展のために活躍させてきたことから始まっていると思われます。明治維新後、学制が頒布されるとすぐに、ここ南原の地域の人々が「これからは今まで以上に子ども達の教育が大切になる。」と立ち上がったのです。本当に素晴らしい創立当時のお話です。

さらに、歴史をひもといてみると様々なエピソードに出会いました。なかなか聞けないお話なので、皆様にも紹介いたします。それぞれ、何年頃かは不明ですが、20年前頃に新校舎建設に向けて奮闘された皆様の小さい頃の思い出話です。

弟や妹を背負って、学校に来るひとが結構いて、子守りをしながら勉強していた。

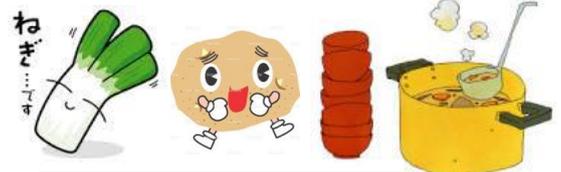


修学旅行は、山形だった。(歩きかな?) だんだん松島とか行くようになったのが羨ましかった。



弁当の時代だが、弁当を持って来られる人は半分ぐらいであとは食わずに我慢していた。弁当を持ってきてもどこに米があるんだかわからないようなもので、大根や芋ばかりだった。

男女別学だった。1・2年までは一緒に、3年生からは何をするにも男女別々に教育を受けた。



『学校磨き』というのがあった。タワシをかけて乾いたら糠の袋で磨いた。冬はその後雪を中に入れて、きれいにした。



家で作ったジャガイモやネギなどを少しずつ持ち寄って給食を作ってもらっていた。

学校はいつも地域の中心で、映画の映写会とかよくあって、集まってみんなで見ました。



プールをつくることになって、赤崩から石運びをした。何度も運んだが、自分達はプールに入れなかった。



『勤労奉仕』というのがあって、地域の人に農作業の手伝いに行った。また、田植えや稲刈りのときは学校が休みで自分の家の仕事をしました。

旧校舎では、体育や掃除などでとげが刺さってけがをすることがよくあった。